

『「ゼロ災 55」無災害運動 建設工事安全パトロール』を行いました

倉吉労働基準監督署

倉吉労働基準監督署の管内である鳥取県中部地区は、平成 26 年 10 月末現在、労働災害による休業 4 日以上の死傷者数が 64 人であり、前年の同時期に比べ、7 人（12.3%）の増加となっています。

特に、墜落・転落災害による死傷者数が 18 人と最も多くなっており、前年同時期の 7 人、過去 5 年間の平均の 10.4 人に比べ、大幅に増加しています。

このため、当署では、平成 26 年 11 月 7 日から同年 12 月 31 日まで展開する『「ゼロ災 55」無災害運動』の中間の日である 12 月 4 日（木）に、建設工事安全パトロールを行いました。

【パトロール現場】

- ・工事名 鳥取看護大学新築工事
- ・施工業者 井木・馬野・向井・共栄特定建設工事共同企業体（建築）
山崎商会・新陽電気特定建設工事共同企業体（電気設備）
大和設備倉吉・クラエー特定建設工事共同企業体（機械設備）
- ・工期 平成 26 年 5 月 11 日～平成 27 年 2 月 27 日
- ・工事内容 鉄骨造 5 階建、建築面積 1,479.43 m²、工事進捗率 76%（12 月 4 日現在）

パトロールに当たり、当署の ^{ひらいみつとし}平井美敏 署長から、当日、現場で作業を行う方全員に対し、「労働災害、特に墜落・転落災害が増加していること、ルールを守って安全に作業を行い、ゼロ災害を達成すること。」を呼びかけました。

次に、施工業者を代表して株式会社井木組の ^{かわぐちとしみつ}川口俊光 執行役員建築工事部長から『「ゼロ災 55」無災害運動と労働災害防止の取組』の呼びかけがありました。



パトロール冒頭に挨拶する平井署長



災害防止を呼びかけされる川口部長

その後、施工業者である株式会社井木組の谷本 剛 所長から工事概要と災害防止上、特に注意している点などの説明を受け、当署の平井署長、宮本 靖 大 監督・安衛課長、宮村 孝 安全専門官が現場の安全パトロールを行いました。

パトロールでは、第三者災害、墜落災害、落下物災害の防止を特に重点として安全管理を行うほか、立入禁止区域の明示、安全带、脚立の使用などについて分かりやすく表示するなど、「安全の見える化」にも積極的に取り組んでいることを確認しました。



「安全の見える化」の表示例



「安全の見える化」の表示例



左から平井署長、宮本課長、谷本所長



講評する宮村安全専門官

最後に、当署の宮村安全専門官から「墜落災害の防止対策のみならず、4S（整理・整頓・清掃・清潔）活動による転倒災害防止対策、全業者が参加した危険予知訓練等、工事における災害防止活動が積極的に行われており、非常に良かった。現状の活動を継続し、ゼロ災害を達成してください。」と講評を行い、安全パトロールを終了しました。